

科学技術館「アトミックステーション ジオ・ラボ」のオープンについて

都市部における高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する理解活動強化の一環として、次世代層を中心に年間60万人を超える方が見学に訪れる科学技術館(東京都千代田区北の丸公園)の原子力関係展示室「アトモス」を全面的にリニューアルし、「アトミックステーション ジオ・ラボ」(展示面積約330㎡)として3月24日よりオープンいたします。

この展示フロアは4つのゾーンで構成されており、「原子燃料サイクル」と、それに伴う高レベル放射性廃棄物の「地層処分」を中心テーマとし、それらの必要性と安全性を子どもたちに理解していただけるような展示としています。

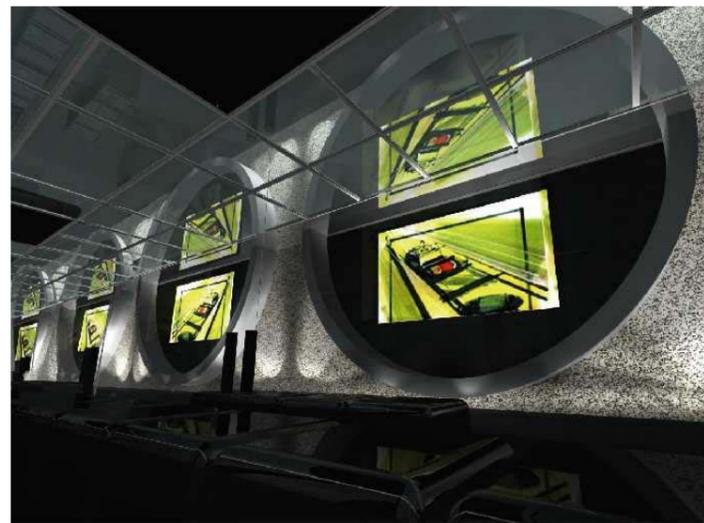
- ・「原子燃料サイクル」に関する展示については、バーコードカードを用いたPCクイズラリーにより、原子燃料サイクルの工程を順に巡り、ウランからエネルギーを取り出した後、リサイクルする工程を体験していただくなど、見学者参加型の展示内容としています。
- ・「地層処分」に関する展示については、原子力発電の利用によって発生する高レベル放射性廃棄物を、地下300mより深い岩盤に埋めていくことをバーチャルシアターにて体感していただくほか、多重バリアシステムのカットモデルの設置、世界の地層処分を紹介するタッチパネルモニターの設置などにより、臨場感あふれる展示内容としています。

このような展示のほかに、日本のエネルギー事情や新エネルギー等に関する情報についても、操作体験型の展示により体験的に学べる展示内容としており、子どもから大人まで、誰もが原子力発電の必要性と安全性をより深く理解いただける展示内容としています。



高レベル放射性廃棄物の地層処分

マジックミラーなどを用いた特殊な映像シアターで、海外および未来の地層処分施設を体感し、その必要性、安全性を学べる展示としています。
このほか多重バリアシステムや世界の地層処分についてご紹介しています。



展示フロアの概要



エネルギーと私たちの暮らし

我が国におけるエネルギー利用の現状をご紹介します。展示となっています。

- ・CO2と地球温暖化問題
- ・日本のエネルギー自給率
- ・様々な発電方法の比較

原子力発電と原子燃料サイクル

原子燃料サイクルの工程をバーコードカードによるPCクイズラリーで展開しています。

- ・原子力発電の展示を中心に、イエローケーキ、燃料集合体、MOX燃料、ガラス固化体のレプリカ展示をサークル上に配置
 - ・参加者はカードを持ってウラン鉱山からスタートし、原子燃料サイクルの工程に沿ってPC端末を巡り、最後に高レベル放射性廃棄物に到着するルートで、クイズラリーに参加
- この他、核分裂の仕組みを学べるゲームや自然放射線の存在を体験できるコーナー等を配置しています。



エネルギーのいろいろ

原子力エネルギー、自然エネルギー、化石燃料について、その由来や性質を知ることのできる様々な科学的情報を提供しています。各エネルギー源の特徴や発電のしくみを体験的に学んでいただけます。

展示室入口イメージ

